

第1回富岩運河環水公園における駐車場整備運営方針検討委員会 議事録

1 開催日時及び場所

令和6年11月11日（月）10:00～11:15

富山県防災危機管理センター6階 B609会議室

2 議題

- ・駐車場の現状と課題
- ・駐車場有料化の考え方（案）について
- ・民間活力導入による、料金体系と事業手法例について
- ・その他

3 発言要旨

検討委員会資料「駐車場の現状と課題」及び「検討1. 駐車場有料化の考え方（案）」の説明

（委員） 無料のままとするか有料とするかに関して有料化が必須と思う。有料化の効果は4つあり、

1. 目的外利用や長時間利用者の排除
2. 駐車場の待ち時間の緩和
3. 周辺駐車場との料金体系と整合性
4. 公共交通機関の利用の促進 以上の観点から、有料化すべきと考える。

（委員） 駐車場の慢性的な混雑を抑制するには色々な方法があるが、プライスコントロールは大事。有料化による周辺への影響を調査する必要があるが、有料化する方針でいい。

（委員） 富山県美術館でも、イベントの際に多くの方が来場され駐車場が満車になる。周辺駐車場も有料であり、均衡をとる点では有料化が1つの解決策ではないか。

富山県美術館の立場からすると、利用者が分かりやすい料金体系にした方がいい。

環水公園立体駐車場は美術館の利用者も2時間無料で、第2の美術館駐車場だと認識されている。

（委員） 観光振興室では、富山市とともに富岩運河水上ラインを運行しており、水上ラインの利用者も環水公園駐車場を利用している。水上ライン利用者は県外の方が多い。

環水公園は県内有数の観光地でもあり、アンケート結果のように他県から車で来られて、4割が利用を諦めていることは非常に損失で、駐車場が無料のためパークアンドライドの利用もある。周辺駐車場と整合をとりながら、改善していくべき。

（委員） 有料化した場合、交通の流れなど周辺にどのような影響を与えるか、前回の実態調査でシミュレーションされているか。

（事務局） 検討していない。

（委員） 次回までに、有料化した場合の仮想的なシミュレーションがあればいい。

駐車場事業者がノウハウを持っているかもしれないので、情報収集するのも1つ。

(事務局) 検討したい。

(委員) 周辺駐車場と連携し、満空情報を共有することで利用者の利便性を上げることが重要。
スマホ等で見るができるサイトを作った方がいい。

検討委員会資料「民間活力導入による、料金体系と事業手法例」の説明

(委員) 周辺の民間駐車場の稼働率は把握できているか。

(事務局) 把握していない。

(委員) 民間駐車場が有料だから避けているのか、もしくは周辺有料駐車場の存在を知らないだけかもしれない。アンケート結果では4割の方が諦めるとしており、周辺有料駐車場の情報を利用者に提供できればいい。

(委員) 昨年、県美術館でジブリ展を開催し、多くの方が来場され美術館駐車場も環水公園駐車場も立体駐車場も満車だった。その際、県外の方に民間駐車場の地図を渡し案内したところ、スムーズに民間の有料駐車場に行かれた方もいた。県外の方は無料よりも、富山県内での時間を有効に過ごすほうを重視されている。

そういった点でも、周辺有料駐車場も含め、できるだけ分かりやすく一元的な駐車場情報を提供することが大事。

(委員) 事務局に質問だが、公園管理と駐車場管理とは別々に考えるのか。

(事務局) 事業手法によっては、公園と駐車場を切り離し別々に管理運営してもらうことも考えている。

(委員) 料金体系について、2時間無料とした場合はおそらく混雑状況の解消に繋がらない。一方、全く無料時間を設けないとすれば、公園利用者の理解や美術館駐車場との整合性を考えると、ハードルが高い。表にはないが、30分か1時間無料かの2つの選択肢になる。

利用者の立場からすると、無料の状態ですべて止められないよりは、300円払ってでも停めたいというのが、アンケート結果から出ている意見。

(委員) アンケートは誰を対象にしたものか。

(事務局) 駐車場出入口や公園内にアンケート用のQRコード看板を設置し、又は対面により実施した。公園駐車場利用者がほとんどと考えている。

(委員) 時間帯や曜日によって料金を変えるなど、融通が利く仕組みはとれるか。

(事務局) 次回以降の委員会でご検討いただきたい。

(委員) 有料化のポイントは、どのくらい需要分散できるかであり、その辺も柔軟にできればよい。

(委員) 委員からの意見にあった、ダイナミックプライシング、曜日とか時間帯によって変動するシステムを導入し、収益を確保しつつ利便性を確保することが、これから議論になる。

富山県美術館駐車場は2時間無料であるが、作品を鑑賞する上で2時間は必要。一方、環水公園駐車

場を2時間無料にすると、目的用途を考えると公園利用だけでは十分すぎる時間であり、アンケート結果でも滞在時間について8割の利用者が2時間以内と回答している。

採算性を確保していかないといけないと思う。

全て県でやるのは財政的に厳しいので、民間活力を導入するとなれば、1時間無料が妥当かもしれない。周辺の利用目的等も勘案しながら、今後、料金体系を精査することが必要。

ある程度方針が決まった段階で、県民に情報を共有し、意見を徴収したほうがいい。

先ほども話したが、満空情報をどのように提供するかを考えると、周辺の民間有料駐車場とデータ連携ができれば一番理想。例えば、駅北周辺の駐車場だけでもデータを連携し、アプリやWebで周辺の満空情報が一目で分かるようにし、ユーザーが駐車場を選択できるようになればいい。それぞれ異なるサイトを調べるのが一番苦痛だと思う。可能であれば、県主導でデータ連携基盤を整備するのも1つの案。

(事務局) 周辺駐車場を一体的に把握できる独自の満空情報のシステムはあるが、会社が異なると難しいと聞いている。次回の委員会までに可能かどうか調べたい。

(委員) 駐車場事業者は、満空情報を公開していると思うのでそこから情報を吸い上げるイメージ。技術的には可能だが、許可は必要かもしれない。情報社会のためユーザー側が調べる必要がある。このサイトに行けば駐車場の満空情報が全て分かるというのが一番いい。それが一番県民レベルの利便性向上に繋がる。いい事例になればいい。

(委員) 料金体系については県で決定するというのでよいか。駐車場事業者が自由に決めることは考えていないのか。

(事務局) 料金体系は県で決めていくことになる。休日、イベントのときは融通が利くような料金をオプションとして加えるかは、次回以降の検討事項となる。

(委員) 料金体系を県で決定し、駐車場事業者で駐車料金を増やせない前提だと、事業手法の設置許可や指定管理はなかなか難しい。仮に料金体系を県が決める場合、駐車料金はすべて富山県の収入にし、指定管理者で運用するのも1つの案。

ただし、料金体系をある程度自由に決めてよければ、事業手法の設置許可や指定管理という選択肢も出てくる。又は、駐車料金は県の収入とし、それ以外の管理運営を駐車場事業者にお願いするという、選択肢もあるのではと個人的に思っている。

(事務局) 今日いただいた意見を踏まえて検討したい。

(委員) 駐車料金は県の収入、それ以外は駐車場事業者にお願いするという選択肢を提案いただいたので、その案についても次回までに検討してほしい。

(委員) 富山県美術館に確認したいが、料金差が生じる場合、どういう懸念が生じるか。

(委員) 立体駐車場も含め環水公園の駐車場を一体化すると美術館と立体駐車場の料金が異なるため、利用者が混乱する可能性がある。また、環水公園駐車場が30分や1時間無料になると美術館が2時間無料なので、公園利用者が美術館駐車場を使う可能性がある。

公園利用者が2時間無料の美術館駐車場を利用すると、環水公園駐車場の採算性の懸念もある。

(委員) 普通に考えると安い方に行かれる。そのあたりも調整できればよい。

(委員) 例えば美術館利用者は、認証機を通して2時間無料にするなどの方法は考えられる。

(委員) 現在の駐車場の運用状況はどうか。

(委員) 美術館駐車場も立体駐車場も精算機に通せば自動的に2時間無料になる。

(事務局) 料金差が生じる場合は、認証機を通すなどの工夫は必要と考えている。

(委員) 公園内の店舗から一定の利用料金を徴収することも、これから検討されるか。

(事務局) 公園内の店舗に料金の負担なども含めて意見を聞いている。

(委員) 店舗との契約の中で、利用料金を徴収できない契約となっていないか。

(事務局) 契約上決まったものはない。

店舗からはサービス券等の発行が主な意見になる。店舗から料金を徴収するかは、駐車場事業者を含めた話し合いになる。

(委員) 公園利用者の年齢層は把握しているか。

高齢者が健康増進のため散歩されると思うが、駐車場が有料の場合利用しづらくなる。料金体系も関係するが、ダイナミックプライシングやシニアパスの発行など、高齢の方にもやさしい駐車場になればいい。

どれだけニーズがあるか分からないが、そこまで料金体系を整理できればいい。

(事務局) 実態調査では調査してないが、毎年公園利用者を対象にアンケートをしているので整理したい。

(委員) 年齢層の情報があれば、次回提示してほしい。

(委員) 事業手法の設置許可を採用する場合、駐車場事業者はイニシャルコスト、ランニングコストも含めシミュレーションしていると思う。例えば、無料時間のケースによって、どれだけの収入が見込めるか、県として把握し、可能であれば次回の委員会で提示していただきたい。

(事務局) 駐車場事業者としても設置許可は民間裁量が高く好まれるが、コストに見合わないような事業手法であれば当然手を挙げられないと思う。

(委員) 民間事業者にヒアリング調査 (P.14) をした際は、駐車場の利用状況等の情報も伝えているのか。

(事務局) 昨年利用実態調査A Iカメラのデータとして、何台、何時間止められていたかのデータを渡して検討してもらっている。

(委員) 全国展開している大手の駐車場事業者であれば、色々なノウハウがあるため、採算性のシミュレーションは出来ると思う。

(委員) A Iカメラによる利用状況は秋の行楽シーズンで来園者が多い時期のデータだと思うが、年間のデータはあるのか。採算性をシミュレーションする上で冬場のデータも必要でないか。

(事務局) 秋のデータしかないものの、駐車場事業者はノウハウがあるので、利用者が少ない冬時期も含めて検討されたと聞いている。

(委員) 本日は委員から様々な意見を聴取した。すぐに結論を出すことは難しいが、有料化のよいモデルになればいい。

<今後の予定>

- 1月・・・「第2回整備運営方針検討委員会」の開催
→方針案を基に議論

3月・・・「第3回整備運営方針検討委員会」の開催
→整備運営方針の決定、公表